

分教室通信

「春うらら」

秋田県立ゆり養護学校長 新 目 基

第9号
秋田県立ゆり養護学校
道川分教室
H28. 3. 18発行

竹島羽衣作詞、滝廉太郎作曲、唱歌「花」の冒頭に出てくる♪「春のうららの隅田川、上り下りの船人が・・・」♪

春になると思い出す1曲です。さて、うららとはどういう意味でしょうか？

それは、うらかと同意語で「空が晴れて、明るく穏やかなさま、朗らかで、のどかなさま」という意味だそうです。この唱歌「花」のように明るく朗らかでのどかなさまは、道川分教室の皆さんや皆さんが学んでいる雰囲気を表しているように思います。

皆さんと先生方の学習の様子からは、いつもほのぼのとした安らぎを感じることができました。児童生徒と教師が共有している穏やかな空間には、明るく朗らかで、のどかな時間が流れていました。

振り返ると皆さんとの出会いから、早くも1年が経とうとしています。この1年間いろいろな勉強や行事がありました。その中でも私が最も印象深かったのは、「夏を楽しむ会」です。夏休み中の行事でしたが、分教室の皆さんだけでなく病棟の人たちにも楽しんでもらいました。

私が驚いたのは、お化け屋敷のお化け役をボランティアとして出てくれたのが、地元の岩城中学校の生徒さんたちだったことです。話を聞くと、小学校時代に道川分教室の皆さんと交流した経験がボランティアで参加しようとするきっかけになったそうです。小学生のからのおつきあいということもあり、名前を呼んだり、「なつかしー」、「げんきー？」と声をかけてくれた生徒さんもありました。小学校時代の交流がこんな形で芽を出し、花を咲かせることがあることを本当にうれしく思いました。

また、道川分教室の皆さんと交流したことで、将来介護の道を歩もうと考えている生徒さんがいることも知りました。道川分教室の皆さんの有形、無形の力がこのように身近な人々に影響を与えていることを知り、改めて皆さんの学ぶ姿の偉大さを知ったように思います。「いのちかがやく道川」をモットーに、どんなことにも一生懸命取り組んでいけば、きっと明るい明日が、皆さんだけでなく皆さんの周りにも待っていることを、今年1年を通して教えてもらったような気がします。

今年度1年間、楽しいこともつらいこともありましたが、それぞれが卒業や進級できる喜びを心からお祝いしたいと思います。これもひとえに支え応援してくださったあきた病院の皆様や保護者の皆様、関係者の皆様の御協力があったからと感謝します。

4月から、学校の名前が「ゆり支援学校」になり、分教室も「ゆり支援学校道川分教室」になります。校名が変わっても道川分教室の宝物である「明るく朗らかで、のどかな」雰囲気をいつまでも大切にして桜咲く4月から、一步一步急がずゆっくりと歩いていきましょう。

4月の行事予定

5日(火) 新任式・1学期始業式

29日(金) 昭和の日

12日(火) 平成28年度 入学式

※5月6日(金) 第1回分教室PTA

13日(水) 分教室集会

進級おめでとうございます！～みんなの思い出～

みんな、あつまれ～



楽しいレクリエーション



音楽家たち



怜美菜先輩



行ってらっしゃい

いつもなかよし

小・中学部

みんなの心はひとつ

本校の友達ともなかよし



なかよし競争かな



この笑顔いつまでも忘れないよ



学年の絆がっちゃん

高等部

学年別の学習から



祝・卒業！！

3月15日（火）、たくさんの御来賓や病棟スタッフ、保護者の皆様に見守られ、平成27年度道川分教室卒業式が行われました。今年度の卒業生は、中学部1名、高等部3名の計4名です。この日は、今年度初めて全生徒が出席して一つの会場に集まることができ、全員で卒業を祝うことができました。

卒業証書授与では、卒業生は名前を呼ばれると発声や表情、挙手で立派な返事をして証書を受け取りました。また「よろこびのことば」では、学校生活の思い出や、お世話になった方々への感謝の思いをスライドの映像に合わせて発表し、会場全体が感動に包まれました。涙よりも笑顔がたくさん、厳粛な中にも温かさにあふれた、ほのぼのとした卒業式になりました。

御卒業おめでとうございます。



御卒業おめでとうございます！



校長式辞



来賓祝辞



卒業証書授与



よろこびのことば

ありがとう

